

『華』八供養菩薩

高野山には、華道高野山という伝統的なお花の流儀が有ります。

仏さまにお供えをするための生け花でしたが、平成に入り東京別院教室が開設されると、寺院だけでは無く、一般家庭でも使える様な生け方も工夫され、多くの方々がお稽古に参加されています。

お花を手にされた優しい表情の華菩薩さまは、大日如来さまに向けてお花をお供えし、供養の誠を实践する姿を現しています。

さて、供養と言うと、お供えをする側の事ばかりを考えますが、もう一方で、供養に答えて、それに報いる側の事までは、考えが及ばないことが多いようです。

命を授かった事への報いは、ご両親やご先祖さまにお返ししようと思っても、お返しする術が有りません。何よりも授かった命よりも尊いものが外に無いからです。

出来ることが有るとすれば、次の命を、世代が一丸となって生み育てて行くことしか有りません。

よく見て下さい。お供えのお花は貴方に向けて飾られています。

感謝の矛先は、子供や後輩に向けて行きましよう。きっと多くの答えがそこに有るはずです。

平成二十四年正月

修詮記